

学校の教育目標を達成するための基本方針【小学校】

「社会に開かれた教育課程」を基に、地域や家庭との目標の共有や教育活動における連携の実現に向けて、小中併設校の特性を生かした9年間の一貫性と継続性をもった教育を組織的・計画的に推進する。また、学校全体で組織的にカリキュラム・マネジメントを進め、「主体的・対話的で深い学び」を実践することにより、全ての児童が達成感や成就感を味わい、自尊感情を高めることのできる教育活動を展開し、児童の学力の定着を図るとともに、社会性を育む。

- ① 人権尊重の精神を基盤として、生命を尊重し、互いに思いやる豊かな心の育成を図るために、全教職員が教育活動全体を通して組織的・計画的に人権教育を推進する。
- ② いじめ、不登校など多様な健全育成上の課題に対応し、互いに認め合い、共に学び合う学校づくりを進める。また、家庭や関係機関との密接な連携を図るとともに、学校における教育相談体制の充実を図る。
- ③ 少人数教育の特長を生かし、学習内容の理解や習熟の程度に応じた指導を充実させることにより、基礎的な知識及び技能を確実に身に付けさせる。
- ④ 各教科等の指導において、異学年や異校種との合同授業及びオンライン等での交流による学び合いや体験活動などを充実させることにより、多様な観点に触れ、他者の考えを理解し、自分の考えを伝えることができるコミュニケーション能力の伸長を図る。
- ⑤ 言語環境の整備、言語活動の充実、ICT機器の効果的な活用等により、学習への関心・意欲を高め、思考力・判断力・表現力や学びに向かう力の向上を図る。
- ⑥ 特別支援教育において、特別支援教室を中心に小中一貫した教育環境を構築する。児童一人一人の教育ニーズに応じた指導を行うとともに、合理的な配慮、適切な指導・支援を行う。校内委員会の充実、スクールカウンセラー、巡回相談心理士との連携などを通して、特別支援教育の充実を図る。
- ⑦ 「学校2020レガシー」の在り方を追究し、運動に親しもうとする児童の意欲を高め、体力・運動能力の向上につなげる。
- ⑧ 保健指導や食育との関連を図った健康教育を推進することを通して、自身の健康や安全について考え、活力ある豊かな生活を営もうとする態度と実践力を身に付けさせる。
- ⑨ 御蔵島の豊かな自然を活用した環境教育の充実を図り、地域の環境保全やSDGs についての理解を深め、実践しようとする意欲を育む。
- ⑩ 地域の人的・物的資源を活用し、地域社会と共有・連携を図った郷土学習を行うことを通して、故郷御蔵島への愛着と誇りを育む。
- ⑪ 「12歳の進学」「15歳の旅立ち」を見据え、中学校や地域社会と連携した系統的なキャリア教育を推進する。児童の自己肯定感を高め、主体的に人生を切り拓くことができる資質・能力を育成する。
- ⑫ 学校だよりやホームページなどを活用して情報を発信するとともに、積極的に学校を公開することで保護者や地域の方々の学校教育に対する参画意識の向上を図り、相互理解を深め、互いに協力できる関係づくりを推進する。
- ⑬ 学校評価、学校関係者評価などを通して、学校の教育活動の改善について、保護者や地域の方々の意見を反映し、開かれた学校づくりを推進する。
- ⑭ 校務を見直し、効率的で効果的な働き方を推進することで健全な労働環境を整え、教育の質的改善を図る。